

明日の家族を考える会 報



・発行 明日の家族を考える会・会長 羽賀絃一 ・事務局長 中村厚子
・発行責任者・編集人 羽賀絃一 ・毎月1回発行
・事務局 〒659-0091 芦屋市東山町10-2-701 中村方 TEL. 080-6165-7011
FAX. 0797-23-2488 URL <http://wnw-ashiya.com>

第46号

2013年3月

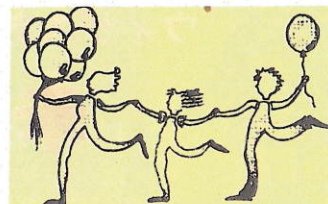
ウィザスあしやフェスタ2013開催

未来への絆

=笑顔でつなごう世代と世代=

おまつりひろば

○日時 2013. 3. 3 (日)
○開演 12:30~15:00
○場所 ラ・モール芦屋1階アトリウム



おまつりひろばでは、中村実行委員長の開会あいさつ、守上さんの司会で進められ、懐かしい童謡、バルーンおじさん、マンドリン演奏による絵本の世界、大型カルタ、みんなで歌おうなどいろいろな内容が繰り広げられました。また縁日では、子どもスマートボール、アンパンマン的当て、布さかなつり、ダンボールとんねる、やじろべえ作り、昔あそびなどが行われ、延べ約50組の親子が参加されて家族の絆を深めました。

当会会員の参加は、伊谷さん、大脇さん、河村さん、辻原さん、徳田さん、中島さん、中村さん、榎本さん、宮本さん、守上さん、山内さん、以上11名





開会あいさつ フェスタ実行委員長 中村さん

司会 守上さん



やじろべえ作りをしています

宮本さん、伊谷さん、

河村さん、

山内さん



宮本さん、伊谷さん、中島さん





守上さん

バルーンおじさん



バルーンおじさん



みんなで歌おう



ぼぼんたさん

マンドリン演奏による絵本の世界



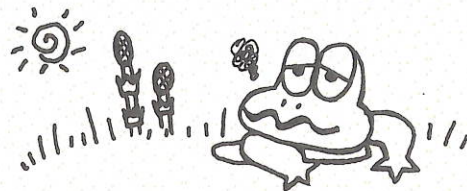
大型カルタ



共同制作 未来へのメッセージ



バザー



○日 時 2013. 3. 3 (日) 10:00~12:00

○会 場 ウィザスあしや 会議室A

今年は大勢の市民の方からの品物提供があり、たくさんの方が来られて大盛況でした。収益は157,053円となり、早速、DV 被害者支援団体「W・S ひょうご」へ協議会から全額寄付しました。

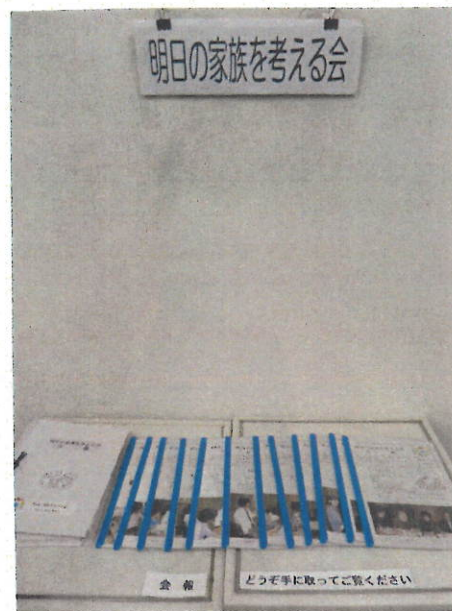


提供のあったたくさんの品物

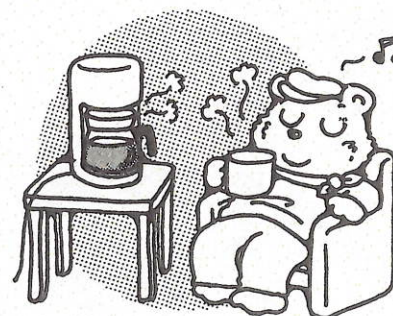


バザー当日

展示



喫茶



グループワークショップ

ウィザスあしやフェスタ2013・第16回公開学習会

中国雲南省・怒江上流地帯の暮らし

＝リス族、ヌー族、トールン族、チベット族＝

話し手 羽賀 紘一

中国雲南省怒江上流地帯に生きる“4つの民族”の暮らしと家族を考察し、私たちの生活との共通点、相違点を検証し、その生き方に学びます。

3月5日(火) 13:30～15:30 芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしやA 会議室にて第16回公開学習会が行われた。

当日は35名の出席があり、会議室いっぱいの盛況でした。最初に中村さんが当会の概要を説明し、その後、羽賀さんのお話とスライド放映が行われた。

内容は、1. はじめに *中国の諸民族概要 2. 怒江リス族自治州 3. 怒江 4. 怒族(ヌー族)「老母登村」 5. 留索 6. 流域の民家 7. バザール(マーケット)「街天」 8. 荷馬隊 9. 怒江第1湾 10. 水車小屋 11. リス族の村、*リス族の「同心酒」・・・古くから伝わる伝統的な風習 12. リス族の歓迎を受ける 13. リス族の結婚披露宴に出席 14. こう山・民家の台所を借りる 15. 4民族合同で歓迎を受ける 16. 家屋・大黒柱の源流 17. 丙中洛 18. 終わりに
当会会員の出席は、安生さん、上田さん、河村さん、中村さん、羽賀さん(講師)、槇本さん、守上さん、以上7名



ウィザスあしやフェスタ 2013

「明日の家族を考える会」 第16回公開学習会

人間の暮らしと家族 = その心の風景

中国雲南省怒江上流地帯に生きる“4つの民族”の暮らしと家族を考察し、私たちの生活との共通点、相違点を検証し、その生き方に学びます。

中国雲南省・怒江上流地帯の暮らし
＝リス族・ヌー族、トールン族、チベット族＝

- ◇ 日 時 2013年3月5日(火) 13:30～15:30 (1300席)
- ◇ 会 場 芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや会議室 A
- ◇ 講 師 羽賀 紘一
[明日の家族を考える会会長]
[中国少数民族研究家]
- ◇ 定 員 40名(定員になり次第締め切り)
- ◇ 参 加 費 無料
- ◇ 一 時 保 育 無料、要予約。
2歳以上の就学前までの幼児。
定員：先着8名。希望される方は、**幼児のお名前、年齢(自給まで)**
を2月26日(火)までにお申し込みください。



お申し込み

下記のいずれかの方法で、お名前・ご住所・連絡先をご記入の上、お申し込みください。

FAX 0797-38-2175
E-mail josei-ce@city.ashiya.hyogo.jp

お問い合わせ：芦屋市男女共同参画センター TEL: 0797-38-2023

第16回公開学習会 申し込み FAX用紙

お名前	〒	〒	〒	〒
ご住所	〒	〒	〒	〒
TEL	FAX			

主催：芦屋市男女共同参画団体協議会・芦屋市男女共同参画センター



大勢の参加者で好評でした

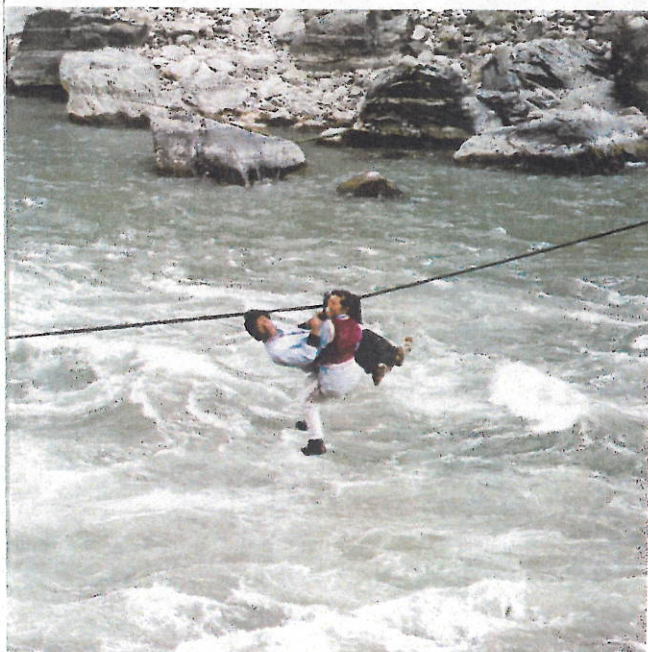


講演はお話と現地のスライドを放映して行われた



怒江大渓谷

東方大峡谷と称され、平均2,000mの深さは、米国コロライド大峡谷に次ぐ2番目の大峡谷である。青海・チベット高原のタングラ山脈南麓に源を発する。



「留索」

川の両岸にワイヤーロープを渡し、そこに滑車をかけて滑り降りて川を渡る。人も動物も荷物もこれで渡る。「留索」と呼ばれ、昔、奴隷が逃げないように橋を造らなかった。現在も利用されている。

リス族との「同心酒」

娘さんは私の肩に手を置いて、情感たっぷりに歌を歌う。

「九十九の山を隔てる我ら 今日得難き出会いの日
あなたを敬うこの一杯 あなたと共に飲み干しまし
よう」、「イーラーシウ! (乾杯)」

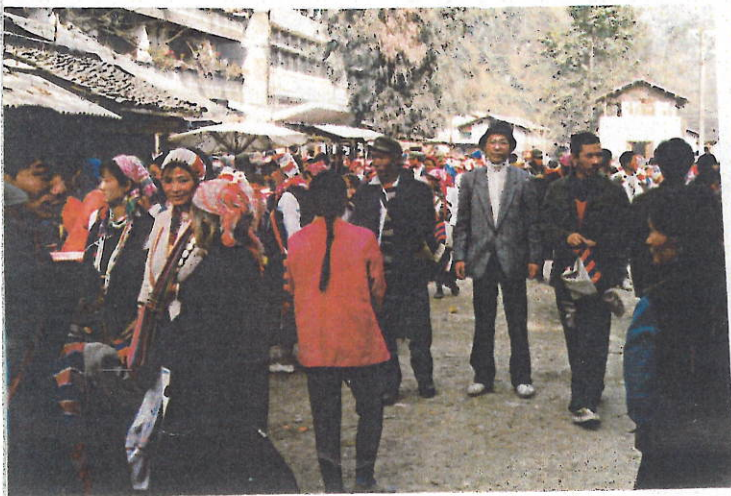
肩を抱き合いほっぺたをくっつけて、ひとつの杯に口を寄せ合い一緒に飲み干す。1人の女性と2度飲み干すのが礼儀である。





怒江界限の子どもたち
日本の子どもたちにとってもよく似ています。

ヌー族(怒族)の女性 16歳

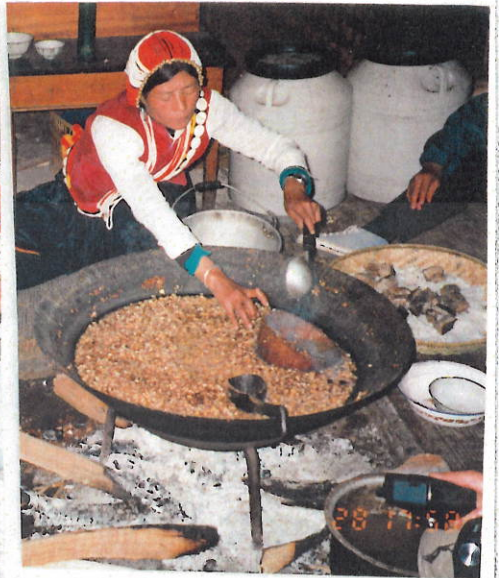


バザールは少数民族の人たちでいっぱい。 荷馬隊 バザールで買った物を馬に乗せて山奥の村へ帰る。





リス族の結婚披露宴に招かれて新郎の家に行く。
入り口でお酒の入った竹筒をもらう。このお酒で同心酒を交わす。



大きな鉄鍋で料理を作っています。



一番左：チベット族、その右の2人：ヌー族、わたしの右2人：トールン族、一番右端：ヌー族



川魚と山ねずみ (バザールにて)



リス族の女性 かつては、怒江一帯の支配民族で、他の少数民族を奴隷にして使っていた。



大黒柱の源流

丙中洛のヌー族(怒族)の民家にて。ヌー語で「コンガ」という。家族の幸せや豊作を願って、お酒を飲むときは、一番先に大黒柱にかけている。家の神様がそこにおられるという。



さまざまな仕掛け、ワナ (バザールにて)



自然の中には七面鳥もいます。



ラ・モール芦屋1階アトリウムにて

芦屋市男女共同センター ウィザスあしやは、本年4月、新築された芦屋市公光分庁舎北館（公光町5番8号）に移転することになりました。従って、このラ・モール芦屋でのフェスタは今回が最後となりました。

各団体がお互いに協力して準備に当たり、最後にふさわしい楽しいフェスタを開催することが出来ました。みなさんお疲れさまでした。

○のびやかスペース「あーち」・・・河村さん担当

神戸大学大学院人間発達環境学研究所、ヒューマンコミュニティ創成研究センター・サテライト施設にて実施しています。

3月1日（金）は、8組の親子が参加されました。



○3月の子育て支援活動

*カルガモクラブ 河村さん担当

第1・第3木曜日10:00~11:30

打出集会所

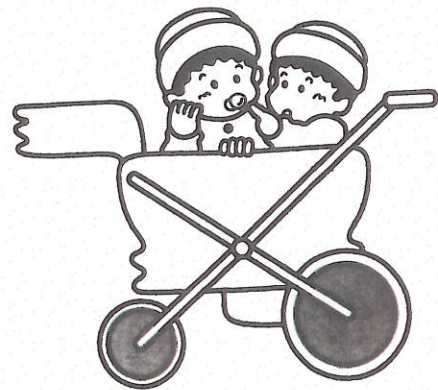
0歳~よちよち歩きまでの親子が対象です。手遊びや育児の悩みを先輩ママがサポートします。子育て仲間を作って育児を楽しみます。

3月7日(木)は、**4組の親子**(子どもは5名)が参加されました。

ボランティアは、辻原さん、徳田さん

21日(木)は、**3組の親子**(子どもは4名)が参加されました。

ボランティアは、ナシ



*バンビグループ . . . 河村さん担当

第2・第4火曜日 10:00~11:30 打出集会所

1歳~3歳の親子が対象

3月12日(火)は、**1組の親子** (子どもは1人)

が参加されました。

ボランティアは、曾我部さん、徳田さん、山内さん

26日(火)は、**4組の親子** (子どもは7人) が参加されました。

ボランティアは、徳田さん、山内さん

今日は、河村さんはお休み。徳田さんが紙芝居「チューリップさんありがとう」、「うさぎのミミコ にんじんがいっぱい」をはじめ、「みんなで手をつなごう」を楽しみ、「グッバイグッバイ」でお別れしました。



紙芝居 話し手は徳田さん



「グッバイ グッバイ . . .」
でお別れです。



県民交流広場事業

まちの寺子屋



・・・河村さん担当

3月22日(金) 15:30~17:00 前田集会所にて

まちの寺子屋は、幼稚園児、小学校低学年を対象に毎月第4金曜日、15:30~17:00に前田集会所(前田町8-17)で開設しています。

今日は、幼稚園を卒業して4月から小学校1年生となる子どもたち **7名** (男の子1名、女の子6名)の参加がありました。

「みずほおねえさん」の名前で、子ども向けのエンターテイメントショーをされているあざやかみらい研究所の奥村みずほさんをお招きしていろいろな色遊びを指導していただきました。

色には、ドレミや九九のように考え方の基礎があることや、スポーツやゲームのようにルールやマナーがあること、どんな知識だって「使える」ことが一番大切であること、「いろりろん」は、自分の力で表現出来る「いろ」の知識を身に付けるための考え方や、アイテムの総称であることなど色を通してたくさんのことを学びました。

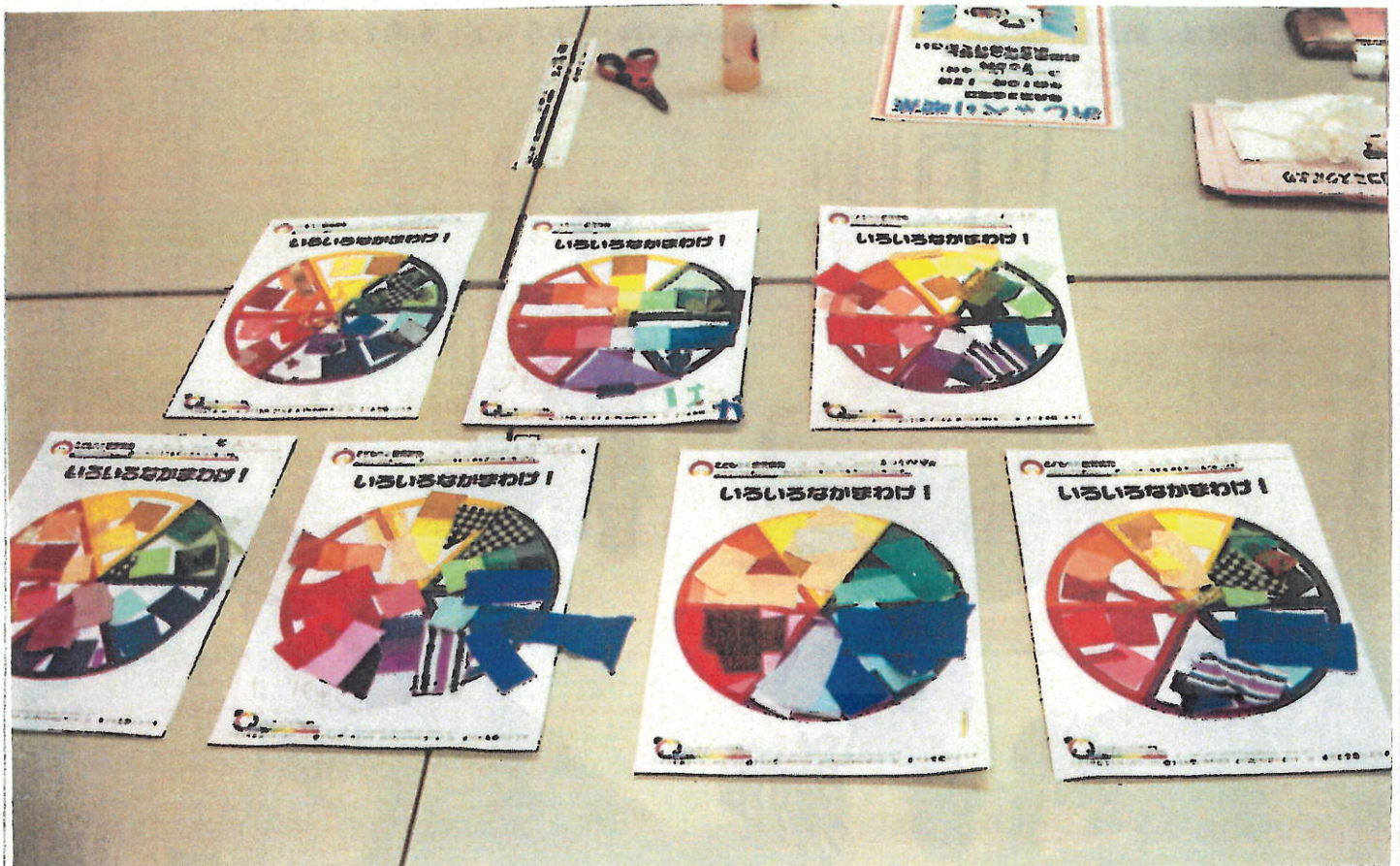
最後は、紙芝居「なんにもせんにん」、「めのみえないちょうちょ」を楽しみました。ボランティアは、曾我部さん。



「この色は何色ですか？」色遊びをしています。



奥村みずほさんが「いろいろなかまわけ」の指導をしています。



「いろいろなかまわけ」の作品は子どもたち一人ひとりの個性がとても良く出ていました。



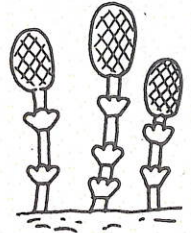
「みずほおねえさん」



紙芝居をしています。話し手は、河村さん

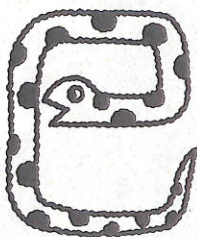
＝知っておきたい知識＝

非常時に役にたった防災用品とは？



3月11日の東日本大震災からもはや2年が経ちました。みなさんは、非常時のために何か備えをされていますか？いざ準備しようと思っても何を選べば良いのか迷います。実際に震災を経験された方、500人に備えていたもので、災害時に役に立ったものは何かを聞いたところ、下記のようなものが上がりました。備えの参考にしてください。

- | | | | |
|------|-------------------|------|--------------|
| 第1位 | ラジオ | 第16位 | 食品用ラップフィルム |
| 第2位 | 懐中電灯 | 第19位 | ガス・電気の自動消火 |
| 第3位 | 本棚、食器棚等、家具の転倒防止器具 | 第19位 | ビニールシート |
| 第4位 | 軍手 | 第19位 | 給水袋・ポリタンク |
| 第5位 | レトルト食品・インスタント食品 | 第19位 | ロープ |
| 第6位 | カセットコンロ | 第23位 | スリッパ |
| 第7位 | 風呂の残り湯を溜めておく | 第23位 | 断熱シート、マスク |
| 第8位 | 飲み水 | 第26位 | 家電固定マット |
| 第9位 | 缶詰、 | 第26位 | 消化器の設置 |
| 第10位 | ガムテープ | 第26位 | はさみ |
| 第11位 | ローソク | 第29位 | レインコート |
| 第12位 | 救急箱 | 第29位 | 使い捨てカイロ |
| 第13位 | ポリ袋 | 第31位 | 携帯電話充電器 |
| 第14位 | 災害用非常食 | 第32位 | 戸棚の飛び出し防止フック |
| 第15位 | タオル | 第33位 | ガラス飛散防止フィルム |
| 第16位 | 非常灯 | 第33位 | 助けを呼ぶ笛 |
| 第16位 | ウェットティッシュ | 第33位 | 災害用トイレ・携帯トイレ |



編集後記

東日本大震災からはや2年の歳月が流れた。思い出すのは昨夏、みんなでお金を出し合って被災地の中学生10名を呼んで、島の自然の中で3泊4日のキャンプを体験してもらった。

こちらに来たときは、みんな白い顔をしてぼっちらりとした身体つき、一目見たときに、直ぐに外で遊んでいないなと感じと

れた。そして自然の緑の中に腰をおろしたとき、草にさわっていいんですか？と聞かれて驚いた。海に入るときも入って大丈夫なんですか？と聞かれた。向こうでは草にさわってはいけない、海に入ってはいけないと強く言われているという。

そして自然を満喫した彼らはみんな真っ黒に日焼けし、引き締まった身体に生まれ変わり、あふれる笑顔を残して元気に帰っていった。

事前にお母さんと電話で話したとき、遠くまで来ていただくので・・・と言ったら、いくら遠くてもいいんです。東京では安心出来ないんです、関西、四国方面だと安心して送り出せるんですということだった。

被災地の小学校2年生から6年生までの子どもたちを受け入れる団体はたくさんあって、今も行われているが、中学生、高校生、そして幼児を対象とした人たちを受け入れる団体は少なく、被災地はこの子どもたちの受け入れを強く望んでいる。

もし、受け入れを考える団体があれば、ぜひ現地の要望を実現させてください。(羽賀)